

闘いなくして安全なし

2026.01.20

No. 527

〔発行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町2-8 D C会館
<https://dorocshien.stars.ne.jp/>
info@doro-shien.site

組織、人事・賃金制度改悪一乗務手当廃止反対！ 強制配転するな！ 融合化、ワンマン化反対！ ローカル線切り捨てやめろ！

山手線・京浜東北線停電で8時間以上運休

安全破壊の外注化、業務融合化撤回を



京浜東北線

会社の発表では、田町駅の改良工事で夜間作業中に送電を止める安全装置を設置していましたが、作業後に送電を再開する際、「何らかの不具合」が起こつて山手線・京浜東北線が停電状態になつたとされています。

会社は現在も「不具合」の具体的な内容とその原因は「調査中」としています。

報道では、「安

全装置が作動した

1月16日、JR山手線と京浜東北線は始発から13時ごろまで8時間以上にわたりほぼ全線で運転がストップしました。影響は約67万3千人になりました。

さらには、7時20分ころに京浜東北線だけで立ち往生になり、13人が体調不良を訴え、そのうち5人は病院に搬送される事態になりました。

深刻な安全崩壊

最大の原因是、JRが進めてきた外注化施策です。鉄道の「現場に直結した業務」はグループ会社に外注化し、JR本体は「管理」だけしていれば良いと、運転士・車掌を除くすべての系統で次々に外注化が強行されてきました。

その結果、生み出されたのは誰も列車運行全体に責任を取らない無責任体制です。すでに「設備管理（JR）の人が現場の仕事をわからない状況」（渡利副社長）、「（外注化のスキームはある意味で破綻している）（喜勢社長）と言わざるを得ない状態です。

そもそも「こんなことをすれば安全が崩壊する」という職場からの声を踏みにじつて外注化を强行したのは誰なのか。その上、会社は「鉄道ありきで考えるな」と鉄道業務もそこで働く現場労働者もないがしろにして業務融合化を進めてきました。さらなる外注化とようなど絶対に許せません。

現時点で詳細な原因などははつきりしていません。しかし、ごく基本的なレベルで安全が崩壊していることは間違いないありません。